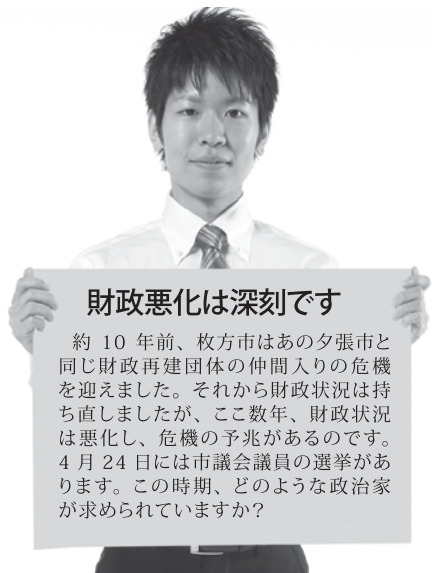




財政悪化は深刻です

約 10 年前、枚方市はあの夕張市と同じ財政再建団体の仲間入りの危機を迎えました。それから財政状況は持ち直しましたが、ここ数年、財政状況は悪化し、危機の予兆があるのです。4 月 24 日には市議会議員の選挙があります。この時期、どのような政治家が求められていますか？

木村亮太プロフィール

1984年 4月22日 枚方市に生まれる
1991年 枚方小学校入学
1997年 パンコク日本人学校卒業
2000年 枚方中学校卒業
2003年 四條畷高校卒業
2007年 大阪大学経済学部経済経営学科卒業
2007年 化粧品を扱うベンチャー企業に入社
(2010年退社)

学生時代、政治家と学生をつなぐNPO法人ドットジェイビーで関西支部代表を務め、若年層の政治参画の促進、投票率向上などを旨とする。

事務所：
〒573-0027
大阪府枚方市大垣内町 1-7-5
自宅：
〒573-0091
大阪府枚方市菊丘町 30-1
☎：070-5651-5832
E-mail:hirakata@kimura-ryota.net

3月11日(金)に発生した東北関東大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。
今、わたしたちができることとして、募金や献血があります。募金箱は市役所や支所、コンビニなどあらゆる場所に設置されています。献血ルームは枚方市駅東口の改札を出て階段を降りてすぐのところにございます。どうか、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

●枚方市駅献血ルームについて

【時間】10:00～13:00、14:00～18:00 成分献血は17:30まで

【休日】月曜日、第1・3日曜日、5月8日(創立記念日)

詳細はHP (http://wanonaka.jp/hirakata/index.html) またはお電話にてご確認ください。☎072-846-5588 (枚方市献血センター)

未来に責任のある 木村亮太が 枚方の未来のために 取り組むこと

行財政改革

▼¥-1,465,509,000

●財政の健全化●強い組織をつくる

地域活性化

空きスペースを活用しNPO誘致で地域活性化

●空きスペース有効活用●NPO、社会起業家との連携

子育て支援

働きながら子供が育てやすい枚方

●待機児童の解消●病児保育の充実

教育の充実

社会体験から考えるチカラ

●社会で必要な能力向上●考える力を養う

市民に近い政治

情報発信と投票率の向上を目指す

●投票率の向上 ●情報を発信



未来に責任

無所属 枚方市

枚方市にお住まいの全ての方々へ

「政治、市議会に興味ない」

と思っている方にも読んでほしい「枚方市」の話

03

<http://kimura-ryota.net>

きむら りょうた
木村亮太

発行責任者：木村亮太 木村亮太と責任ある未来を創る会 [討議資料]

投票に行きましょう！

46.93% (2007年枚方市議会議員選挙の結果)

投票率が46.93%ということは2人に1人も投票に行っておりません。半分にも満たない人々の民意しか、枚方市政には反映されておりません。そして「投票に行かない人」＝「若者」や、「投票に行けない人」＝「子供、将来世代」にツケが確実に残されていくのです。政治家のために投票に行くのではなく、我々のため、そして我々の未来のため、我々の子供たちのために行きましょう！

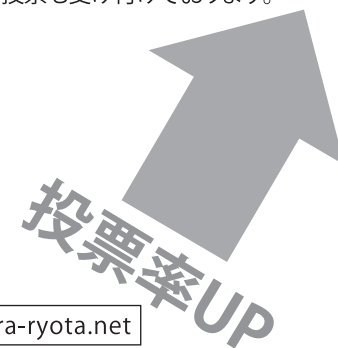
枚方市議会議員の選挙は4月24日に実施されます。期日前投票も受け付けております。

■期日前投票について

日時：4月18日(月)～4月23日(土) 8:30～20:00

場所：市役所別館5階 選挙管理委員会会議室

津田支所・北部支所・南部生涯学習センター



これまでに発行したパンフレット第1弾・第2弾を市内ならすぐに配達いたします。お名前・ご住所をご連絡ください。☎070-5651-5832 E-mail:hirakata@kimura-ryota.net

行財政改革 余裕のない枚方市の財政

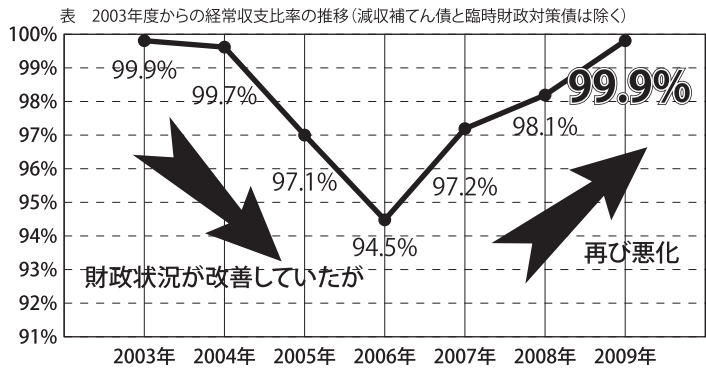
第一弾、第二弾で枚方市の財政をお伝えしてまいりました。一般会計と特別会計を併せると 14 億の赤字。特例の借金 2 つも含めると、実際は約 64 億円の赤字といえます。また、どれだけ財政状況に余裕があるかというのを表す指数（経常収支比率）が、ここ数年で再び悪化しています。

最新の実際の経常収支比率が 99.9% です、家計にたとえると、手取り収入が年間で 100 万円あったら、食費、家賃、教育費など、必要最低限のお金で 99.9 万円は使い道が決まっている状態です。こんな状態だと、万が一事故にあったとき、病気にかかってしまったときの治療代も払えないですし、新しいものを買う

行財政改革で確保した財源を使い、空きスペースを有効活用 地域活性化 NPO・社会起業家・市民と行政が連携する環境づくり

厳しい財政状況下、行政はなんでもかんでもできません。今までのように将来世代に借金をし続けるのであれば話は別です。しかし、いつまでも借金を積み重ねていくわけにはいきません。まずは行財政改革を推進し、無駄を省く。

そして、行政だけでは担いきれなくなる役割を、NPO・社会起



こともできません。それだけ余裕のないのが枚方の財政状況です。

このような状態をいつまでも続けるわけにはいきません。また、このまま悪化していくと夕張市のように財政破綻もありえます。

市税収入の増加が簡単に見込めない時代だからこそ、事業・人件費を見直し、強い組織をつくることで、財政を健全化させ、そして健全な状態が続く自治体に生まれ変わらなければなりません。

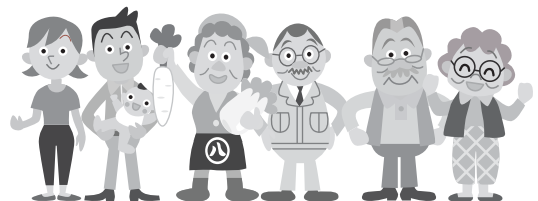
業家・市民と行政が連携して、よい枚方市をつくっていく。枚方市は人・場所など資源が豊富にあります。それらが活きる環境をつくることで、よりよい枚方市にすることが可能です。

行政は最低限の市民の生活を支えながら、市民のみなさまの活力を引き出すために、邪魔をし

ない。それがこれからの行政のあるべき姿と考え、その環境づくりをします。

右の事例は全て他の自治体です。に取り組みられています。枚方市でもできないわけがありません。

みんなのチカラで地域を活性



しがらみのない政治で未来に責任をもって行財政改革を

■事業の見直し

あればあるで嬉しいが、本当に必要かどうかわからない公共事業や工事がまだまだ枚方にはあります。また昨年度の実施された事業仕分けも議員が参加しておらず、行政が仕分けする事業をピックアップしていました。それでは効果がありません。しがらみのない立場から議会での真の事業仕分けをすすめます。

■明るい未来をつくるため、将来世代にツケを残さない政治をする。

これらにより、財政を健全化させ、将来世代の負担を減らします。また、本当に重要度が高く、必要な分野にお金を投資します。しがらみなく、本当に枚方市全体のことを考えた政治をするためには、特定の団体、既存の政党に属していると難しいです。木村亮太はしがらみのない政治で行財政改革をすすめ、枚方の明るい未来をつくります。

■人件費の見直し

枚方市職員の平均給与は国家公務員と比べても高いです。財政状況は厳しい状態です。全員一律カットというわけにはいきませんが、議員の報酬も含め、全体としての人件費は見直します。

(2010年4月1日の最新のラスパイレス指数より)

■強い組織をつくる

年功序列型の給与体系ではなく、成果に応じた給与体系、頑張った者が報われる評価制度を構築します。また、定年退職された方の再任用も大事ですが、今後の組織運営の観点から若手職員の採用、民間企業出身の職員の採用を促進します。

子育て支援

■病児保育施設を充実

空き家、空き店舗改装し、病児保育の運営をする NPO を誘致します。共働き世帯のお子様が病気になっても安心して預けることができ、働きながらも子育てのしやすい環境を整えます。

■他の自治体では

東京都内では23区すべてに、大阪市内でも(予定も含め)18区でNPOと連携し、病児保育の施設が整っております。

教育の充実

■寺子屋授業の実施

商店街などの空き店舗を利用して、大学生や定年退職した社会経験が豊富な方を講師として招きます。近隣住民の小学生や中学生などが補習や、社会体験を聞き、学ぶことができる場をつくります。

■他の自治体では

箕面市ではNPOを誘致し、行政と連携し、開始予定です。茨木市では商店街と大学生が連携して、寺子屋授業を実施しています。

その他(福祉の充実)

■高齢者介護施設に改装

少子高齢化が進む中、地域によっては3人に1人が高齢者の地域もあります。そのような地域の空き家を改装して、通所介護も訪問介護も、ショートステイもできる介護の施設にし、スタッフを配置することで介護サービスを充実させます。

■他の自治体では

新潟市では、上記の施設が30箇所以上あります。人口比率から見ても枚方市にはまだまだ不足しています。